

保護者等向け 放課後等ディサービス評価表

環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15 100.0%			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10 66%	5 33%		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10 66.0%	5 33.0%		身体に問題ない子どもが多いので評価しにくい。
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画※1が作成されているか	14 93.0%	1 6.0%		いろいろ配慮して頂いていると感じております。
	5	活動プログラム※2が固定化しないよう工夫されているか	12 80.0%	3 20.0%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3 20.0%	7 46.0%	5 33.0%	時間的に難しいと思うので、今のままで良いです。交流は少ないと思いますが、外出の中で交流する機会はあると思います。
保護者への説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13 86.0%	2 13.0%		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14 93.0%	1 6.0%		いつも些細な事でも話を聞いて頂いて感謝しております。こちらからお願いしたことに対して、すぐに対応して頂いています。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9 60.0%	4 26.0%	2 13.0%	情緒や行動など変化があれば伝えてほしい。
保護者	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2 13%	4 26%	9 60%	保護者同士、お互い距離があった方が良いので、交流は無くても良い。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11 73%	3 20%	1 6%	

者への説明等	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13 86.0%	1 6.0%	1 6.0%	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10 66%	3 20%	2 13%	
	14	個人情報に十分注意しているか	13 86.0%	2 13.0%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	12 80.0%	3 20.0%		
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8 53.0%	5 33.0%	2 13.0%	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14 93.0%	1 6.0%		とても楽しく通っています。ありがとうございます。常に楽しみにしています。行けない日は、残念がっています。
	18	事業所の支援に満足しているか	13 86.0%	2 13.0%		母子共に支えて頂いて感謝しております。

事業者等向け 放課後等ディサービス評価表

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	コメント
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	6 100.0%			・十分なスペースを設け、環境を整えている。 ・教室内は目的毎に構造化を図っている。
	2 職員の配置数は適切であるか	3 50.0%	3 50.0%		・療育内容の充実の為、支援スタッフの拡充が望まれる。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2 33%	4 66%		・建物内はバリアフリー化されているが、出入口口に段差があるためスロープなどの設置が必要
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5 83%	1 16%		・会議の際には、全職員が参加できるようにしている
	5 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6 100.0%			・アンケート結果を基に職員間で共有し、業務改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6 100%			・ホームページに公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4 66.0%	2 33.0%		・苦情解決のための第三者委員を設けている。
適切な支援の提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6 100.0%			・法人研修の他、必要に応じて外部の研修に参加している。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	6 100%			・最近の発達検査の結果、情報を頂き、職員間で共有している。 ・支援計画の作成時期に合わせて本人と保護者からの聞き取りの他、家庭訪問などで聞き取りをインテーク、診断表、検査結果及び、相談員からの基本情報を用いている。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6 100%			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	6 100.0%			日々の申し送りや振り返りを基に、職員間で活動内容の変更、改善を行っている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6 100.0%			・季節に合わせてプログラムや講師を招いての活動を実施している。また、外出の機会を設け、変化のあるプログラムも活動を実施している。
適切な支援の提供	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6 100.0%			・外出、買い物訓練やイベント参加など活動プログラムに変化を持たせている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等ディサービス計画を作成しているか	6 100.0%			・個別学習や対面学習によるSSYやコミュニケーションのトレーニング、小集団活動による社会性のトレーニングなど、お子さんの状況に応じて個別支援計画を作成している
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6 100.0%			・活動前にミーティングを行い、活動内容、担当を決め、活動中の留意点について確認を行っている。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6 100.0%			・活動終了後及び、次回利用前までには情報共有を行い、支援方法を検討、統一するようにしている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6 100.0%			・支援記録を基に振り返りを行い、今後の支援方法の改善に向けて話し合っている。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6 100.0%			・半年毎に計画書の見直しをし、報告書を作成している。
関係機関や保護者	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	4 66.0%	2 33.0%		・参考にして支援、活動を行っている。
	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6 100.0%			・児童発達支援管理責任者や療育担当職員が参加している。
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	6 100.0%			・電話連絡や連絡帳を活用し、情報共有している。お子さんによっては、定期的に担任と情報交換の機会を設けている。
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3 50.0%	3 50.0%		・対象児なし。 ・定期的に通院しているお子さんに関しては、保護者から情報をもらっている。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5 83.0%	1 16.0%		・必要に応じて事業所等への直接訪問や電話での情報交換、共有を行っている。
	24 学校を卒業し、放課後等ディサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		6 100.0%		・対象児なし。 ・現時点で該当ケースはないが、今後地域との関係機関と連携しながら情報交換していきたい。

との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6 100.0%			・法人内の他事業所職員に療育現場に入ってもらい、指導、助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2 33.0%	3 50.0%	1 16.0%	・新型コロナウイルス感染症拡大対策の為、今年度は交流の機会を設けることが少なかった。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極定期に参加しているか	4 66.0%	2 33.0%		・猪苗代町の自立支援協議会こども部会に可能な限り参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6 100.0%			・送迎時や電話連絡、連絡帳などで日頃のお子さんの様子をお伝えしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2 33.0%		4 66.0%	・形式的な支援は行っていない。
保護者等への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6 100.0%			・利用前に契約書や重要事項説明書などの説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6 100.0%			・随時相談に応じており、必要に応じて関係機関との連携を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2 33.0%	4 66.0%		・保護者会はないが、親子参加活動などで交流の機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6 100.0%			・苦情解決に関しての文書を提示している。また、責任者、窓口担当者を掲載し、第三者委員を設けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6 100.0%			・毎月、活動内容や行事などを記載したお便りを発行している。また、定期的に法人広報誌も配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6 100.0%			・各種会議などで利用者の情報提供をする際、事前に個人情報同意書をいただいている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6 100.0%			・一人ひとりの特性に合わせた伝達方法を職員間で相談しながら配慮している。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1 16.0%	1 16.0%	4 66.0%	・見学会を設けたり、お子さんと地域のお祭りに参加するなどしている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5 83.0%	1 16.0%		・各種マニュアルを提示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6 100.0%			・適宜、実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6 100.0%			・法人内で勉強会を実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等ディサービス計画に記載しているか	4 66.0%	2 33.0%		・対象児なし。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4 66.0%	2 33.0%		・インテーク用紙に記入欄を設け、保護者から聞き取りも行っている。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3 50.0%	3 50.0%		・再発防止に向け、職員間で改善策を講じている。	